

特定配当等・特定株式等譲渡所得金額申告書の書き方の例
※例は、納税義務者にとって有利か不利かを示しているものではありません。

例1 源泉徴収口座Aについてすべて市民税・県民税での申告不要を選択する場合

源泉徴収口座A			
配当	2,000円	譲渡益	3,000円
利子	1,000円		

様式第14号の2(第11条関係)
(宛先)高崎市長



年度(年分) 市民税・県民税
特定配当等・特定株式等譲渡所得金額申告書

< 提出年月日 年 月 日 >

年1月1日 現在の住所	高崎市高松町35番地1	電話番号	***-***-****									
現在の住所	高崎市高松町35番地1	生年月日	明・大・ <u>昭</u> ・平・令									
			* 年		* 月		* 日					
フリガナ	タカシ イチ	個人番号	* * * * * * * * * *									
氏名	高崎 市		* * * * * * * * * *									

上場株式等の配当所得等及び譲渡所得等に係る市民税・県民税(住民税)の課税方法について、所
申告不要を選択する場合には、「① 申告不要を選択します。」の の上、提出してください。上
頭の□に✓(チェック)を記入してください。 目を記入の上、提出してく
資料の提出にご協力お願いし

① 以下の 目の□に✓(チェック)を入れてください。なお、「①申告不要を選択します。」以外
を選択 場合は、所得金額と控除額についても記入してください。

☑1 上場株式等の配当所得等に係る市民税・県民税(住民税)の課税方法について次のとおり選択しま

☑① 申告不要を選択します。

□② 総合課税を選択します。

総合課税分の所得金額 (円) 配当割額控除額 (円)

□③ 申告分離課税を選択します。

申告分離課税分の所得金額 (円) 配当割額控除額 (円)

☑2 上場株式等の譲渡所得等に係る市民税・県民税(住民税)の課税方法について次のとおり選択しま

☑① 申告不要を選択します。

□② 申告分離課税を選択します。

譲渡所得等の金額 (円) 株式等譲渡所得割額控除額 (円)

② 翌年度以後に繰り越す上場株式等に係る譲渡損失の金額は、次のとおりとします。

上場株式等の譲渡の収入金額 (円) 上場株式等の譲渡所得等の金額 (円)

総合課税分の配当等の所得金額 (円) 配当割額控除額 (円)

申告分離課税分の配当等の所得金額 (円) 配当割額控除額 (円)

翌年以後に繰 2年前(年度分)(円) 前年度(年度分)(円)
り越される損失
の金額 本年度(年度分)(円)

